



国民の森林・国有林

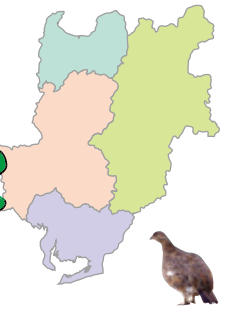
林野庁
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



9月号

メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



池の平湿原のマツムシソウとベニヒカゲ (中部森林管理局 広報)

主な項目	○ 本局のトピックス (令和2年度永年勤続表彰伝達式～ほか) …………… P1
	○ 各地からのたより (戸隠森林植物園の木道整備 (第一期工事) 完成～ほか) … P2
	○ 森林のお仕事紹介コーナー
	・ 「森林官からの便り」 (木曾森林管理署 藪原森林事務所) …………… P8
	・ 「林業土木界からの便り」 (田中建設工業株式会社) …………… P9
	☆ シリーズ「お役に立ちます国有林」第5回
	・ 伐採・造林一貫作業システムによる低コスト施業 (森林整備課) …………… P10
	☆ 連載「木曾式伐木運材図会」の解説 (第5回) …………… P11
	○ シリーズ「ご当地自慢」 (北信森林管理署「カヤの平・高標山」) …………… P12
	○ 各地からの花だより …………… P13
○ 国有林モニターのご紹介／教えて！中部の森林／編集長だより …………… P14	

令和二年度永年勤続表彰伝達式

【総務課】

七月九日、中部森林管理局において、局勤務者を対象とした、永年勤続表彰伝達式を行いました。

式典では局長から、「永年にわたる、国有林野事業への功績に對しまして、敬意を表し感謝するとともに、苦楽を共にされたご家族の方々や、受賞される方々を支えていただいた職場の皆様にもこの場を借りて心からお礼を申しあげます。皆様方におかれましては、引き続きさらなる研鑽に努められ、健康に十分ご留意の上、それぞれの職務に、なお一層邁進されますようお願い申し上げます。」と挨拶があり、永年勤続表彰（三十年並びに二十年）の受賞者に対し、農林水産大臣からの表彰状が授与されました。

また、七月上旬から中旬にかけて、各署等においても、伝達式が行われました。

これを機に、中部森林管理局一丸となって職務に邁進して参ります。

今年度の受賞者は次のとおりです。

◇永年勤続表彰（三十年）

畑 茂樹（計画保全部長）

立澤 和実（計画課）

藤井 勝（保全課）

芳沢 真一（資源活用課）

光坂 紀治（愛知所）

仲谷 華子（愛知所）

中屋 健次（飛騨署） 計 七名

◇永年勤続表彰（二十年）

貴田 雅規（治山課）

畠山 弘一（東信署）

松原 洋平（木曾署）

水野 耕太（岐阜署） 計 四名



局庁舎にて記念撮影（局表彰者）

令和二年度優良職員等表彰伝達式

【総務課】

七月二十七日、「木曾森林管理局レクリエーションの森グループストリートビュー撮影チーム（代表者：久保喬之、池端久美子、古澤博、平枋潤己、古畑正弘、横川慶和、三宅悠平、松木邦昭）」が、優良職員等表彰の林野庁長官賞に選ばれ、その伝達式を中部森林管理局において行いました。

農林水産省では、毎年、職員の方の士気高揚を図ることを目的に農林水産行政に顕著な功績を上げた優良職員の表彰を行っております。

この取組は、レクリエーションの森をグループストリートビューで公開し、国有林の優れた景観等を世界中に発信するとともに、地域振興として観光資源のPRに貢献した功績が評価されたものです。

ストリートビューは、Google社が提供するGoogleマップの機能の一つで、街中や観光名所等をその場にいるかのように三六〇度のパノラマ写真で見ることができ



局幹部と表彰された「撮影チーム」の記念撮影

るインターネット上のサービスです。公開された「ストリートビューで歩く木曾谷」は、ホームページのリンクだけでなく、SNS等により発信しており、今後も多くの方々にご覧いただきたいと考えています。

また、ストリートビューを活用することで、現地に足を運ぶことが困難な場合でも、様々な方に広く国有林の優れた自然景観を鑑賞いただけるようになりました。

※ストリートビューで歩く木曾谷は、次のQRコードを読み込んでください。



《各地からのたより》

戸隠森林植物園とがくしの

木道整備（第一期工事）完成

【北信森林管理署ほくしん】

戸隠大峰とがくしおのおみね自然休養林保護管理協

議会オフィシャルサポーター協定に基づき、木製遊歩道整備の歩道入り口から約二百メートルの第一期工事区間が完成しました。



木製遊歩道改修中の様子

四月三日の着工日には、オフィシャルサポーター（長野林業土木協会北信分会）、戸隠観光協会、長野市、北信森林管理署などから総勢約五十名が参加し、この一日で床下の土台（根太・大引き）の設置を予定区間の三分の二程度、床板の貼り付けを二十メートル程度完成させました。

その後は、戸隠観光協会を中心に地道に床板の貼り付けを進め、

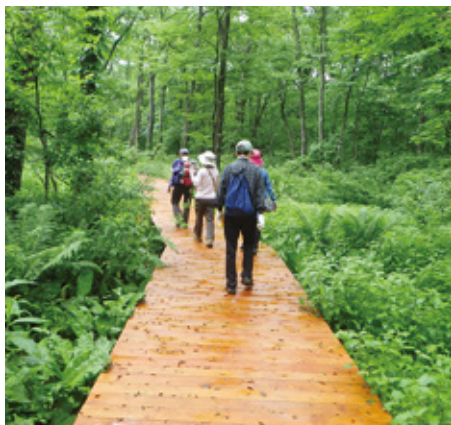
四月二十日には予定区間のすべてが完成しました。

新型コロナウイルス感染症にかかるとの事態の影響で、森林植物園の開園は六月一日となりましたが、今現在、多くの方々に利用されています。

引き続き、オフィシャルサポーターの支援を受けながら、改修区間を順次整備する予定です。

ご協力いただいているオフィシャルサポーターは次の方々です。

- 株式会社 コシイプレザービング（木道資材の提供）
- 長野林業土木協会北信分会（労力の提供）
- 一般財団法人日本森林林業振興会長野支部（資材の提供）
- 株式会社 八十二銀行（資金の提供）



完成した木製遊歩道

乗鞍岳外来植物除去作業の実施のりくらたけ

【飛騨森林管理署ひだ】

七月三日、乗鞍美化の会主催による乗鞍岳たまたみだら、平周辺及び桔梗ヶ原ききょうがはらにおいて、乗鞍岳の貴重な植生の保護を目的として、会員・一般のボランティア等四十九名参加で外来植物「セイヨウタンポポ」除去作業を実施しました。



除去対象のセイヨウタンポポ

乗鞍岳は、標高二、七〇〇メートルの畳平まで車道が整備されており、誰でも気軽に登ることができるところから、車のタイヤや人の靴などにくっついて外来種植物が侵入しやすい場所です。繁殖力が強く、

生態系を乱す「セイヨウタンポポ」などが道路に沿って繁殖しており、厳しい環境で生育する高山植物への影響が懸念されています。特に、畳平周辺には、外来植物が広範囲に繁殖しており、毎年四回、関係機関や地元ボランティアの方々による除去活動を地道に進めています。

セイヨウタンポポの根は深く、抜き取りは容易ではありませんが、根気よく腰をかかめての作業を約二時間実施し、三十センチメートルのセイヨウタンポポを除去することができました。

今後こうした、森林保護活動に協力していく考えです。



セイヨウタンポポの除去作業の様子

〈各地からのたより〉

コロナ禍の新しい活動

〜業界団体のボランティア活動〜

【東濃森林管理署】

治山・林道工事や森林整備事業を実施している業界団体、名古屋林業土木協会及び名古屋造林素材生産事業協会の関係支部は、中部森林管理局が奨励している森林・林業社会貢献活動のコロナ禍における「新しいやり方」に取り組んでいます。

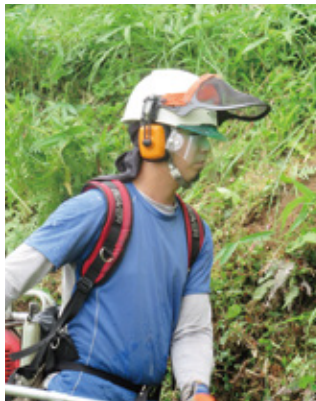
一つは国有林ゴミゼロ運動が見合わされるなか、「分散・自主活動型」として団体が企画し、レクリエーションの森の看板や林道施設の注意標識やガードレールなどの清掃作業を、六月から七月にかけて一堂に会することなく、受け持ち区域を決めて、会員がそれぞれ自主的に取り組まれました。落ちないと思いついていた汚れ



看板の清掃作業の様子

もきれいになり「ゴミのポイ捨て抑止にもなるのでは」との声も聞かれ、国有林ゴミゼロ運動にも繋がった活動になりました。

もう一つは「対策徹底型」として毎年実施されている「山の日」を記念した岩村国有林と接する岩村城跡の草刈り作業などです。



フェースシールドを着用した、草刈り作業の様子

日本三大山城の一つとして人気の観光地でもあり、短時間でやる必要から一堂に会する形で、八月七日、受付で健康チェック、検温などのほかヘルメット用フェースシールドを着用、岐阜県のコロナ緊急対策を周知など「感染防止」対策を徹底し取り組みました。

コロナ禍の新しい取り組み方を模索しているなかで、今後も「国民の森林」として関係団体とも連携した活動に取り組んでいきます。

ブナ坂国有林で

山岳環境整備を実施

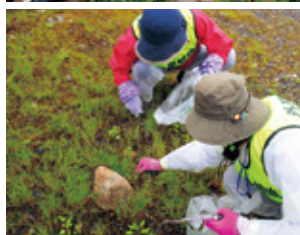
【富山森林管理署】

八月八日、立山のブナ坂国有林において、山岳環境整備ボランティア活動が行われました。

この活動は、「山の日」を記念し、立山の山岳環境の保全と適正な利用を県民協働で行うことを目的として、富山県、環境省、立山黒部貫光（株）、富山森林管理署などが協力して平成二十八年度から開催され、今年で五回目を迎えました。



滑り止め板の設置作業（右上）、外来植物の除去（右下）、自然観察会の様子（左上）



今年には新型コロナウイルスの影響で一般参加者の規模を縮小しての開催となりましたが、当署からは五名が参加し、総勢五十八名で弥陀ヶ原の湿原に設置された遊歩道（木道）への滑り止めの設置、富山県ナチュラリスト協会による自然観察会、外来植物の除去活動を行いました。

当日は曇りで時より雨も降りましたが、家族連れなど参加者一人一人が協力し合いながら、四時間を超える作業に汗を流し無事終了しました。



山岳環境整備ボランティアの皆様

金華山を守り続けて二十一年

「ボランティア団体「十時会」」

【岐阜森林管理署】

八月二十日、岐阜森林事務所に
おいて、十時会、岐阜市との月例
定例会を行い、刻々と変化する金
華山の登山道の様子、登山者の動
向、動植物の様子など様々な点に
ついて情報交換を行いました。

この会の主力メンバーであり、
二〇〇七年に「第十九回森林レク
レーション地域美化活動コンク
ール」にて林野庁長官賞を受賞した
こともある、「十時会」のボラン
ティア活動についてご紹介しま
す。

当会は、一九九九年に発足した
団体で、毎日十時ごろに頂上で会
う仲間によって会が結成されたこ
う



中学生に歩道修繕方法を
指導している様子

とから「十時会」と名付けたそう
です。

活動エリアは、金華山山頂（岐
阜城）へ向かう登山道の東半分を
中心登山道の補修、清掃、登山者
への安全指導、地元中学生へのボ
ランティア活動体験の指導等々、
多岐にわたって活動しています。

白木会長（二代目）は「近年、
登山者が多く訪れるようになり、
登山道の傷みが目立つようになって
きたため補修作業も追いつかな
い状況になっていますが、無理を
したらボランティア活動は継続で
きないので、自分たちのペースに
合わせてやりますよ」と今日も笑
顔で作業を続けながら、登山者の
安全を見守っています。



集合写真（上列左から2人目が会長）

岐阜県立森林文化アカデミーの
国有林実習で実験林等を案内

【森林技術・支援センター、岐阜
森林管理署】

八月二十五日、岐阜署管内の小
川長洞国有林及び乗政国有林にお
いて、岐阜県立森林文化アカデ
ミーのクリエーター科の学生十名
が、国有林の施業について現地実
習を行い、森林技術・支援セン
ター及び岐阜署の担当者から、実
験林や試験地の概要について説明を
行いました。

小川長洞国有林の実習では、間
伐率の異なるプロットにおいて、
植栽木の生育状況等の観察を目的
に設定された「ヒノキ間伐実験
林」を見学し、間伐の効果やプ
ロット毎の優劣を学習した後に、
今後の伐採方法等の施業につい
て、学生同士の意見交換が行われ
ました。

学生からは、生産・利用など、
各々の専攻分野に応じた様々な意
見が出される中で、最後に、セン
ター職員から、国有林の今後の施
業方針について説明を行いました。

また、乗政国有林の実習では、
「ヒノキ長伐期施業林」の見学を行
いました。現地は、平成二十八
年度に製品生産事業で搬出した箇所
で、林齢八十七年生と百七年生の
ヒノキ人工林の概要について、岐
阜署の担当者が説明を行いました。

この林分では、樹冠長率や樹冠
のつつ閉状況を確認し、今後の施業
について意見交換を行い、学生から
は、「皆伐して再造林するべき」と
いった意見や、「需要に応じて択伐を
進めたらどうか」等の意見が出さ
れていました。

この他にも、コンテナ苗試験地
の見学を行うなど、それぞれの専
攻分野に応じた見聞を広め、充実
した現地実習となったようであり、
後も学校などからの要請に応じ、
国有林の案内やPRに努めて参り
たいと考えています。



ヒノキ長伐期施業林の見学状況

〈各地からのたより〉

ドローン等を用いた収穫調査の 簡素化に向けた 新たな手法の導入

【森林技術・支援センター、資源活用課】

八月四～五日、岐阜署管内の小川長洞国有林において、収穫調査の簡素化に向けた新たな手法として、ドローンによるオルソ化空中写真を用いた測量や跡地検査を実施し、林内作業の軽労化の可能性について、資源活用課担当者とセンター職員が現地検証を行いました。

今後、収穫量増加が見込まれる中で、指定調査機関等における労働力確保の課題などを踏まえ、従来の手法を見直し、無人航空機やデジタル技術を活用した収穫調査等の取組を順次進めていくことが喫緊の課題となっています。

現地検証では、初日にドローンによる跡地検査の準備として、現地の伐採跡地内で伐採された木の切り株にテープ表示を行いました。翌日にはドローンのプログラム測量（人工衛星から送信される電

波を利用する測位方法）を実施し、最後にエリア内の切り株に表示したテープをドローンで撮影しながら間接的に確認しました。

ドローンによるテープ表示の確認は、すべて目視外手動操縦によつて地表近くを飛ばすため、相対の操縦技能を必要としますが、跡地検査が十分に可能であることが検証されました。

今後も引き続き、リモートセンシングを用いた立木調査による業務の効率化を目指し、具体的な手法の検討を継続していく予定です。



ドローンにより切り株を確認している様子

北アルプス高山植物等

保護パトロール終了

【富山森林管理署】

七月二十一日から始まった高山植物等保護パトロールが八月二十日の解団式をもつて終了しました。

このパトロールは、地元自治体や関係団体、山小屋等で組織した国有林野保護管理協議会を通じて、希少動植物の保護や環境美化、登山者への啓発等の活動を行うパトロール員を一般から募集して行っているものです。

例年、薬師岳（立山）黒部（白馬岳・朝日岳）の広大なエリアを四地区十八名体制で活動していますが、今年度は新型コロナの影響で山小屋が休業、営業縮小していることもあり立山室堂班四名で感染防止対策に努めながらパトロー



パトロール中の美化活動の様子

ルを実施しました。

今夏の立山室堂は例年ほどの賑わいはありませんでしたが、お盆シーズンには涼を求めて多くの登山客や観光客が楽しんでいました。

感染に注意しながらのパトロールは慣れない試みではありましたが、拠点としてお世話になった富山県立山センターをはじめ関係機関の方々と協力し合つて対応したことで全員が無事にパトロールを終えることができました。

最終日に行った解団式では、パトロール員から現地で得られた情報や貴重な意見・アイデアをいただきましたので次年度以降の活動に活かしてまいります。



パトロール員の皆様

「ソーシャル・D」で 分育現地検討会開催

【愛知森林管理事務所】

七月十六日、例年になく長い梅雨の合間に当所の令和二年度分収育林地現地検討会を開催しました。

今年度の検討会は、新型コロナウイルス対策の「新しい生活様式」を実践しつつの開催とし、「基本的感染対策」に加え、「日常生活を営む上での基本的な生活様式」などに配慮して、「参加者を必要最小限に絞り」、「配車を分車化」、現地でも「ソーシャルディスタンス」に配



段戸国有林の新規販売予定箇所

慮」するなどして行いました。

検討会では、現地の地形や林分状況を一つ一つ確認しつつ、搬出条件のメリット、デメリットなどを検証し、各事業の立場から意見を出し合い、横断的に業務の垣根を越えての検討を行いました。

コロナ禍による木材需要の影響が懸念される中、立木購買業者の購買意欲が沸く、販売戦略の検討など活発な意見交換を行いました。

今年度の愛知所の分収育林地立木公売は秋・冬の二回の予定で十物件を公売する計画であり、今後とも分収育林地の有利販売さらには循環型林業が円滑に進むよう現場でできるあらゆる工夫や営業活動などに所をあげて精一杯取り組みたいと考えています。



現地の地形や林分状況を確認している様子

刃物（鉋）取扱い 講習会（OJT）を実施

【東濃森林管理署】

七月一日、労働安全週間初日、鉋による切創災害防止等、安全で適切な刃物の取扱いを習熟することを目的に、若手職員を対象として、講習を行いました。

講師は森林技術指導官を筆頭に、神坂森林事務所の三名の技術者の応援を受けて実施しました。

森林技術指導官が、この職場に採用されてからの四十年の実績により作成した、秘伝？の取扱説明書に基づき、

①鉋の状態によつての砥石の選び方

②鉋と砥石のあて方

③砥石の動かし方

④鉋は「砥垢」で研ぐ

⑤研ぎ音の見分け

⑥バリ（刃先の返し）とボタ（刃先の先端部分）の付き方

など冒頭に説明・実演を行い、続いて、実際に鉋研ぎを行いました。

最初は、鉋の固定や砥石のあて



講習会の様子

方に不安を隠せない様子も見受けられ、先輩方がついつい手を出してしまうこともありましたが、そこはさすがに我が署の若手職員。あつという間にコツをつかむと、濡れた新聞紙に刃先をあてればスツと切れる、切れ味鋭い鉋に仕上がるなど、しっかりと鉋の研ぎ方をマスターしました。

今後も署内のOJTを計画的に行い、森林技術の習得、向上に努めていくこととしています。

〈各地からのたより〉

新型コロナウイルス感染対策等！

〔天生県立自然公園 協議会安全対策研修会〕

【飛騨森林管理署】

七月十六日、「新型コロナウイルス感染防止対策」及び「緊急通信整備等の安全対策」等の実施に向けて、天生県立自然公園協議会会員及びパトロール員十五名が参加し、安全対策研修会が開催され、当署から職員二名、GSS（グリーン・サポート・スタッフ）二名が出席しました。

新型コロナウイルス感染対策では、入林時の問診表の記入や体温測定を行うとともに、パトロール員が巡視時に「マスク・手袋・体温計」などを携帯して体調不良者の発生に備えています。



入林受付での検温検査



パトロール員の携帯装備品

また、連絡体制の充実を図るため、新たに通信無線機を更新し、通話可能区域を拡大しました。

当署古川森林事務所上島首席森林官からは、「高山植物盗掘における対処について」を説明し、高山植物保護の重要性の理解を深めました。

パトロール員からは、入林者に対し、天生地域の貴重な動植物等に関する話とともにコロナ対策への協力をお願いしているとの意見がありました。

こうした現場の声を参考に入林者が安全・安心して訪れ、天生の自然を楽しんで頂けるよう地域と連携し今後も協力していきます。

有害鳥獣の食害等から 農林業を守ろう

〔鳥獣保護及び狩猟に関する検討会〕

【南信森林管理署】

七月二十二日、署内職員、森林官など三十数名が参加し、「鳥獣保護及び狩猟に関する検討会」を実施しました。

当署管内の国有林においては、職員捕獲をはじめ、くくりワナの貸出や地元猟友会との協定、各種協議会などの協力により、昨年度は二ホンジカ二、九〇二頭を捕獲しました。本年度も職員が鳥獣保護や狩猟に関する制度及び獣害対策に関する意識・知識の向上や効果的な捕獲技術を習得し捕獲に役立ててもらうことを目的に開催しました。



牧田猟友会長から
ワナ設置の説明を受ける職員

検討会では、上伊那・南信州

両地域振興局林務課の鳥獣対策専門員を講師に、法令や鳥獣の生態、特性について学んだ後に調査、午後からは手良沢山国有林地元伊那市猟友会長他五名から、六班に分かれて「平澤式くくりワナ」を使用して、設置する場所の選定、設置する際の注意事項、獣がワナに掛かった後の対応等について学びました。

自分の手で「くくりワナ」を設置した職員からは、「力がいらさず簡単に設置できる」、「錯誤捕獲により熊がかかった時はむやみに近寄らず特に注意しなければならぬ」などのコメントがありました。

今後、検討会で講習したことを活かし、地元猟友会、関係機関、各協議会等と連携して積極的に有害鳥獣被害対策に取り組んでまいります。



猟友会員の指導の下、
ワナを設置する職員

管内には、コメツガ・トウヒ・ダケカンバ等からなる亜高山性の天然林を有し、木曾川源流の碑がある鉢盛山や、木曾ヒノキ・サワ



木曾川源流の碑

木曾森林管理署 藪原森林事務所
首席森林官 井上 典子
藪原森林事務所は、長野県中部の木曾谷北部にあたる長野県木曾郡木祖村に所在しており、木曾川の源流域である烏帽子岳、鉢盛山、境峠、大笹沢山を連ねる稜線に囲まれた地域、約七、八〇〇畝の国有林野を管理しています。



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染がないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特色、森林官の仕事などを紹介していきます。

加えて管内には、「やぶはら高原スキー場」があり、雪質の良さ

また国有林に隣接して、ロックフィルダムである味噌川ダムがあり、河川の水量調節や中京圏を含む下流域の生活・工業用水、発電等の機能を担っています。このダムの建設によりできた「奥木曾湖」は、ダム湖百選に選ばれ、遊歩道や展望台、カヌー体験の施設があり、四季折々の風景や自然を楽しむことができます。



ダム湖百選の奥木曾湖

ラなどの針葉樹とブナ・トチノキなどの広葉樹が自然に混交する貴重な森林である水木沢天然林といった緑と水に恵まれた見所があります。

現在の、藪原森林事務所は、森林官、森林技術員、行政専門員二名の計四名体制で、生産・造林請負

管内の国有林野は人工林が約六割を占めており、間伐などの木材生産事業、森林の保育作業が主となる森林育成事業、森林資源への被害をもたらすニホンジカ等捕獲委託といった有害鳥獣対策事業などの各種業務を実施しています。

このように、木曾川源流の里として、レジャーや自然体験などのフィールドとして大都市である中京圏などからの関心が高い地にある国有林です。



やぶはら高原スキー場

から冬期シーズン中には多くのスキーヤーで賑わっています。



藪原森林事務所前にて左から2番目が森林官

達成感を得られる職場でもありません。過去から未来へ引き継がれる森林を一緒に育ててみませんか。

事業の監督、各種調査、境界巡検・巡視等の業務に従事しています。今年は、七月の記録的豪雨による林道被災の対応など、例年とは異なる事案が多々あり悩むことも多いのですが、管内に精通する森林技術員や行政専門員と相談しながら事業を進めるとともに、地元市町村からの要望や情報共有など、民有林とも連携を図りながら業務を行っています。

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ
「林業土木業界からの便り」

田中建設工業株式会社

小川 達矢

(二〇〇四年入社)



筆者（写真中央）

■事業の概要

請負事業・滝波谷（治山資材運搬

路）復旧治山工事

発注者・岐阜森林管理署

本工事は、関市板取滝波谷内に於いて、上流域の山腹崩壊地への

資材運搬路の設置工事です。今回の工事は既設林道（作業道）の拡幅工事及び新設の林道を設置します。施工延長が一・四キロメートル、土量（切土約一万二千立方メートル、補強土壁工二箇所と、土工事が主な仕事となります。



切土作業の様子

■現場での役割、魅力

私の役割は、現場代理人及び監理技術者として、発注者との打ち合わせや地元住民の方々への対応をはじめ、施工管理、安全管理、工程管理など現場の運営全般を行っております。

設計図面に基ついて施工するのはもちろんのことですが、現地に於いて既設部分との摺り付け方

や、仮設工事の現場配置など、図面にはない部分を自分の考えや、他の職員の意見を参考に施工して、問題なく工事が完了すると満足感を得ることが出来ます。

また、夏場などは都市部などの現場とは違い、日陰や谷に入れば天然のクーラーで涼むことができ、自然を感じる事ができることは良いものだと思います。（虫は苦手です。）



伐採の終わった現場の様子

■林業土木の世界に

入ったきっかけ 私がこの職業に就いたきっかけは、建設業に限らず、単にモノづくりに興味があったからです。建設業でいまの仕事を行っていく

内に様々な現場で受けた経験を次の現場で活かすことができた時に、自身の成長を感じることが出来ることや、自然の凄さを体験することが出来るので、この世界に入って良かったと思っています。

■未来の担い手へのメッセージ

土木工事に対するイメージは3K「きつい・汚い・危険」などと言われていますが、新しい機械・技術の導入や職場環境の改善等により、若者が働きやすい環境が整備されてきています。（昔のような職人気質の人も減ってきています。）

同じ工種の仕事でも現場の条件によつては様々な方法で作業を進めていくこととなります。自身の考えだけでなく、みんなで考えた方法で作業を進め、完成させたときの達成感は大きなものがあります。

一人で作り上げることはできませんが、みんなで力を合わせることで作り上げることが出来ます。建設業という魅力溢れる職場で是非一緒に働きましょう。



中部森林管理局では、森林の公益的機能の発揮や林業の成長産業化に向けて様々な取組を行っています。その中から民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様に参考にしていただけたら幸いです。

また、当局ホームページにおいてもこれら事例を紹介しています。

詳細は、QRコードを読み込んでください。



伐採・造林一貫作業システムによる低コスト施業

1. ねらい

戦後造成された人工林が本格的な利用期を迎え、今後、主伐の増加が見込まれることから、林業の持続に向けて再造林を円滑に行うため、造林コストの低減を図ります。

2. 概要

伐採・造林一貫作業システムとは、伐出機械を再造林作業の一部に利用したり、コンテナ苗を活用して、当年度中に伐採から地拵・植栽までを終わらせる低コスト作業システムです。

3. 成果

(1) 車両系システムでは、伐採搬出機械を使用した機械地拵により、末木枝条等を整理することが可能です。(人力地拵比約47%コスト減)



油圧ショベル (バケット)



油圧ショベル (グラップル)



作業後のイメージ

(2) 架線系システムでは、全木集材による末木枝条の搬出により、地拵作業の省力化が可能です。(人力地拵比約17%コスト減)



全木集材



コンテナへ積込



トレーラー運搬

4. 問い合わせ先

森林整備課 電話 026-236-2566

お役に立ちます 国有林

民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様へ



連載

「木曾式伐木運材図会」の解説 (第五回)

中部森林管理局技術普及課

井上

日呂登

今回解説する二つの絵は山で伐採

した木から、ともに斧により、角材を造っている風景です。造材は鋸で行うイメージが強いかもしれませんが、戦前までの全国各地の林業では、斧での造材が行われる場合がありました。現代以上に、大きな木の運搬には多大な労力が必要であったため、運搬に不便な山元で角材として加工し、搬出コストの軽減を計ることがあったのです。



「文六厘之圖」より

「文六厘之圖」について

ずいぶんと危険な場所です、軽やかに作業をしていますね。これは伐採した木を近くにある他の木に立てかけて、そのまま造材作業をする様子を描いたものです。ここで言う「厘」とは、造材に用いる台木のことでです。「文六」とは、この作業方法の考案者の名前のことだと考えられています。



明治20年代作製のリトグラフより

ここまでは極端な岩場で斧を振るう必要が本当にあったのか分かりますが、明治時代に作られた石版画

(リトグラフ) では同じ作業が森林内で描写されています。「御山厘之圖」について

こちらは傾斜地で角材を造る時、他の細い木などを用いて作業する「厘」を組み立てて、平坦な場所を作り作業をしている様子です。斧による作業ですので、「切る」というより「削る」という言葉が適切かもしれません。



「御山厘之圖」より

山元で角材を造る作業は、尾張藩領である木曾ではあまり行われず、「木曾式伐木運材図会」の原画と考えられている「官材画譜」が描かれた江戸時代後期頃には、幕府直轄地(天領)であった飛騨で盛ん

に行われていたとされています。

中部森林管理局に残されている明治時代後期以降の写真・映像は、ほとんどが丸太か樹皮を剥いた丸太です。また、斧による造材の写真は残されていませんが、木曾への出稼ぎ労働者が多かったとされる高知県国有林で、昭和十年頃に同様の作業の写真が撮影されています。江戸時代の作業風景もこれに似たものであったと想像できるのではないのでしょうか。



昭和10年頃の高知県内での写真

次回は、「株祭之圖」「釣木之圖」について解説させて頂きます。

中部森林管理局では、この「図会」を保管し、それぞれの場面を切り取ったものを画像としてホームページで紹介しています。

サイトは、QRコードを読み込んでください。なお、木曾式伐木運材図会は、一般公開は行っていません。



カヤの平は、上信越高原国立公園の一部、志賀高原、野沢温泉及



ブナ林と遊歩道

北信森林管理署管内の北部、長野県下高井郡木島平村木島山国有林内にある「カヤの平・高標山」をご紹介します。



また、「南ドブ湿原」、「信州大

総合案内所から三十分ほど歩いた場所に位置する「北ドブ湿原」は、初夏の湿原を覆いつくすニッコウキスゲの群落が有名ですが、トキソウ、タテヤマリンドウ、ワタスゲ、ジャコウソウなどの貴重な湿原植物や様々な高山植物も見ることが出来ます。また、高地に位置するため、独特の植物等が見られ、四季を通して楽しめるのも特徴です。

び秋山郷のほぼ中央に位置し、自然休養林に指定されています。周囲を高い山に囲まれた標高一、五〇〇メートル前後に広がる高原には、日本一美しいとも評されている樹齢二五〇年前後のブナの原生林やシラカバの群生林などが広がっています。周辺には、総合案内所、牧場、キャンプ場などの施設が整備されています。

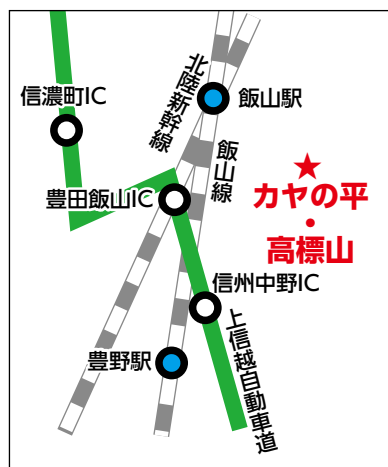
学ブナ原生林教育園」を回るコースもあります。「高標山」は、標高一、七四七メートルでカヤの平の南側にあり、総合案内所から二時間ほどで登ることが出来ます。山頂からは、高社山、岩菅山などの雄大な眺望を楽しむことが出来ます。



ジャコウソウ(上) コオニユリ(下)



北ドブ湿原のニッコウキスゲの群落



所在地(総合案内所) 長野県下高井郡木島平村大字上木島木島山国有林内(営業期間:六月上旬~十一月上旬) 電話:〇九〇八〇二五四二八八 ◆アクセス ◆公共交通 JR飯山駅からタクシーで五十分。また、期間中は「カヤの平高原・秋山郷秘境シャトル便」ツアーがあります。問合せ:信越自然郷飯山駅観光案内所 電話:〇二六九一六二七〇〇〇 ◆自動車 上信越自動車道・豊田飯山ICから車で六十分



高標山山頂から高社山を望む

各地からの花だより

中部局管内には、たくさんのお花の色とりどりの花が咲いています。ここでは、各森林管理署等で、現場へ調査等にいった際に撮影した、今が旬の花を紹介させていただきます。

また、自然保護の観点から撮影場所を掲載していない場合がありますが、ご理解の程よろしくお願い致します。



秋の日差しを浴びる「オヤマリンドウ」山々に映えています。(岐阜署)



ミヤマリンドウ 富山署



トウヤクリンドウ 富山署



タテヤマウツボグサ 富山署



ワタスゲ 富山署



トリカブト 飛騨署



マルバダケブキ 富山署



チングルマ 富山署



ノアザミ 東信署



ウメバチソウ 東信署



マツムシソウ 東信署



タマアジサイ 東濃署



フシグロセンノウ 木曽ふれあいセンター



ウスユキソウ 東信署



ヤマハハコ 東信署

国有林モニターのご紹介



よしだ ますみつ
吉田 勝光
(長野県)

◇自己PR(趣味や特技など)

家庭菜園にはまり、昨年自宅庭に出たホタルに感激し、すぐそばの休耕田でビオトープづくりに挑戦中

◇国有林モニターに

応募いただいた理由

転職で十二年前に上高地のある松本市に転居しました。

客人や指導学生と何度か上高地に足を運ぶ中で、国有林が身近なものになりました(実家近くの愛知県犬山市八曾地区にもあることを最近知りました)。時間の余裕のできた現在、国有林行政のお役に立てればと考えました。

◇国有林に期待すること

私にとつては、国有林といえ、木曾のヒノキは別として、スギ林のイメージが強いのです。花粉症に悩まされているからということではありませんが、個人的には、年中深緑のスギ林よりも、四季の移ろいを感じられ、野生動物の餌も豊富にある広葉樹林が好きです。

スギ林育成の有用性も否定できませんが、以前から叫ばれている広葉樹林の減少を危惧しています。その観点から、スギ人工林内での針広混交林化・除伐時の有用広葉樹の保残を含め、広葉樹林の植域拡大への取り組みで、民有林とともに、豊かな針広バランスのとれた日本の森林を形成して欲しいものです。



ちょっと! 豆知識

教えて!

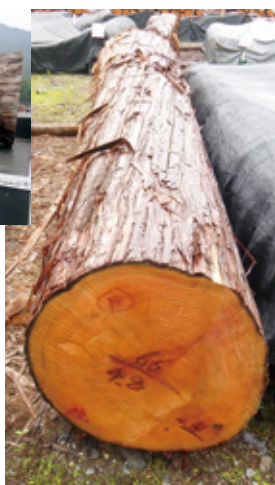
中部の森林

全国戦没者追悼式の標柱は、何の木?

例年八月十五日には、全国戦没者追悼式が行われます。追悼式会場の日本武道館の式壇中央に設置されている「全国戦没者之霊」と書かれた標柱(四五・五センチメートル×四五・五センチメートル×四五・五センチメートル)は、中部森林管理局管内の、柱として削つても節が出ないと判断された樹齢三〇〇年を超える天然の木曾ヒノキの丸太(直径六六センチメートル、長さ四・八メートル)を選び供給しました。



トラックで運搬される様子(上)



標柱に選ばれた丸太(下)

編集長だより

(中部の森林へのご意見・ご要望等の投稿は、migoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。)

秋を告げるマツムシソウを見ると初秋を感じます。(でも、まだまだ暑い!)

今年からは、熱中症予防のために気温、湿度、輻射熱を取り入れて算出した「暑さ指数(WBGT)」を基に、危険な暑さが予想される場合に「熱中症警戒アラート」を発表する取組がはじまりました。発令され時には、外出や屋外での運動を避けて、涼しい場所で過ごすよう求められています。

こんな時には、爽やかな森の樹々や、雄大な山々の風景!大自然に思いを馳せつつ、いつでもお気軽に自宅で森林や自然の風景を楽しむことができる「デジ森(もり)」で、美しい風景をご覧になってはいかがでしょうか。



ぜひ、「デジ森」へお気軽にお越しください。デジ森への入場ゲートは、左のQRコードを読み込んでください。

☆デジ森! 今月の広報主任官のお勧めサイト!

どんなお勧めのサイトかは、以下のQRコードを読み込んでからのお楽しみ!

また、3つのQRコードの中には、過去ヘタイムスリップするデジ森の裏サイトがありまよ!

何かなあ



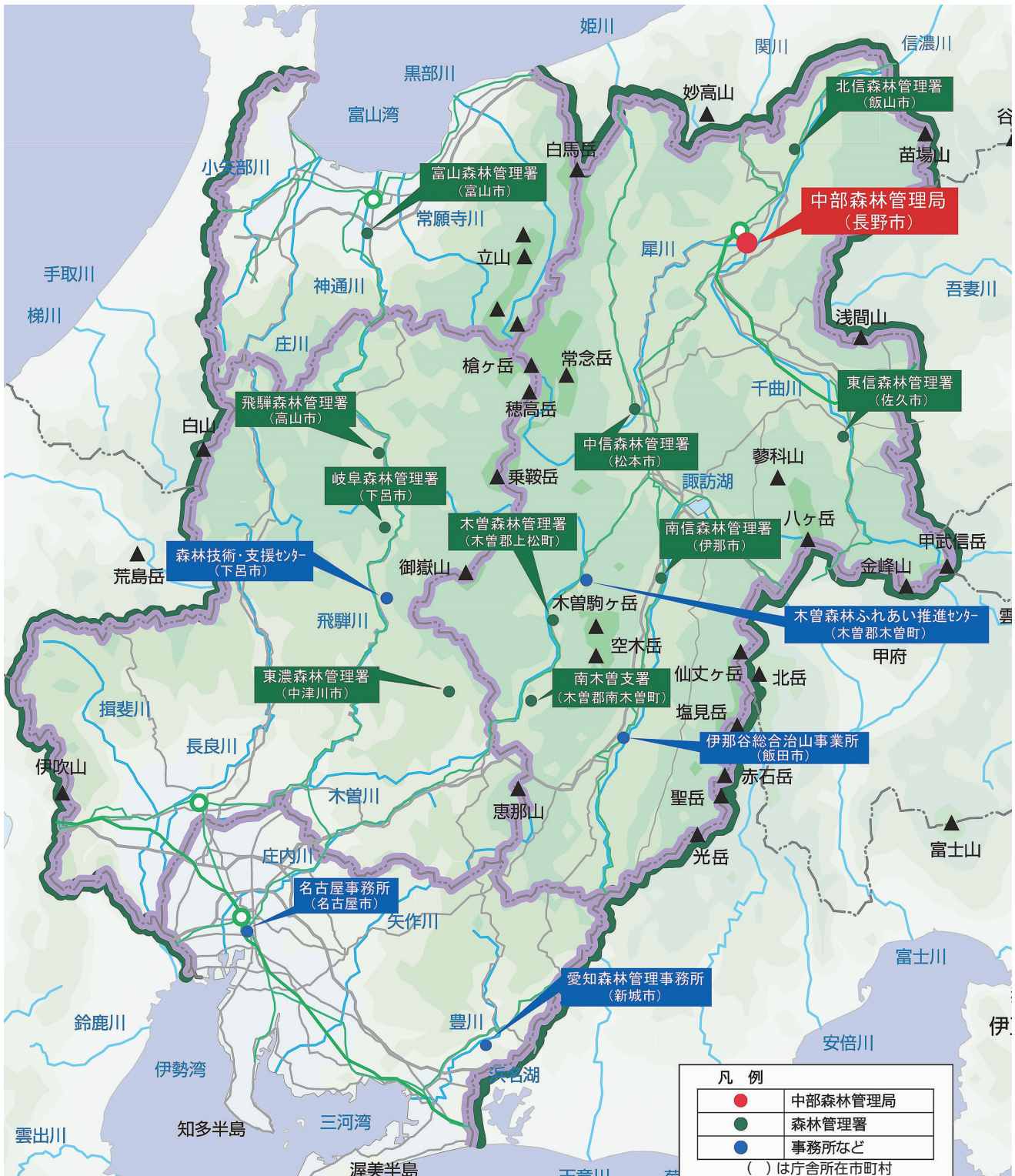
!(^^)!

何だろう



(*A_A*)





お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6507 (代表) TEL 026-236-2721 (夜間・休日) FAX 026-236-2657

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中区熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曾森林管理署	〒399-5604	長野県木曾郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
南木曾支署	〒399-5301	長野県木曾郡南木曾町読書3650-2	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曾森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曾郡木曾町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149